岩盤ボーリング柱状図

調査名	その他河川　赤石川　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	No.6	調査位置	広島県三原市木原町地内			北緯	34° 23′ 22.9217″
発注機関	広島県東部建設事務所 三原支所			調査期間	令和3年 7月15日～ 令和3年 7月19日	東経	133° 08′ 01.2342″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	104.13m	角度	180°上 90 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	38° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	11.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-0型			
			エンジン	ヤンマーディゼルNFD-9		ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1	103.33	0.80		礫混り砂	暗褐～明褐								GL-0.0～0.1m付近、有機質であるGL-0.1m以深、φ5～20mm位の亜円～亜角礫が20%位混じる。マトリックスは砂。粘性分がやや混じる。	
2	102.43	1.70		砂質礫	明褐								φ5～30mm位の亜円礫が70%位混じる。マトリックスは砂。粘性がやや強い。植物片が混じる。	
3				玉石混り砂礫									φ100～200mm位の玉石が混じる。礫種は流紋岩が主体。マトリックスは砂礫。円～亜円礫が70%位混じる。砂は粘性がやや強い。	7/20 3.30
4														
5														
6														
7	96.53	7.60										20[32](100)		
8				流紋岩	明灰	w2	h1	B	Ⅱ	b	CM	27[60](100)		
9	94.73	9.40										22[86](100)	全体的にやや新鮮で硬質。	
10						w1		A	Ⅱ	a	CH	40[92](100)		
11	93.13	11.00												
12														
13														
14														
15														
16														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	7 / 300		
	1.45			
47	2.15	47 / 300		
	2.45			
17	3.15	17 / 300		
	3.45			
50以上	4.15	50 / 80	80	
	4.23			
37	5.40	37 / 300		
	5.70			
50以上	6.15	50 / 80	60	
	6.21			
50以上	7.54	50 / 20	20	
	7.56			
50以上	8.00	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		
50以上	10.00	貫入不能		
50以上	11.00	貫入不能		

深度－N値図

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
7/15	240	91	D/MC	0	90	0	W1 0	0
	51		D/DC	0	180	0	W2 2	2
	73		W/DC	0	180	0	W2 2	2
	51							
7/16	39			0	180			
	55			0	180	0	W2 2	2
	86							
7/17	78							
	35	66	W/DC	10	180	0	W2 2	2
	80							
7/19	46			20	180			